

ウムチョ ムゥイーザ通信 No. 38

ルワンダ語で「良い文化学園」の意味を表します。

ご挨拶



平田風子作

2014年6月14日

NPO法人ルワンダの教育を考える会

理事長 永遠瑠^{とわり} マリールイズ

1994年4月、ルワンダの悲しい大虐殺から20年が経ちました。振り返ってみるといろいろなことがありました。希望も夢も失っていた私たち家族は、福島をはじめ全国の皆様のご協力ご支援のおかげで夢を取り戻すことが出来ました。そしてルワンダの未来を創る子ども達はウムチョムゥイーザ学園で希望に向かって学び続けることが出来ます。ルワンダの教育を考える会を設立し、希望に向かってこの14年間活動を続けてこられたのは、みなさまのおかげです。心から感謝いたします。

20周年のメモリアルはルワンダの地で過ごしました。不安の中で過ごした20年前と同じ場所！当時を思い出しながらふるえていました。二度と同じようなことがあってはならないと祈りながら、命を失ったすべての人々の冥福を祈りました。

生かされた私たちの役割は、子ども達が安心して暮らせる未来を私たち大人がつくり、次世代へバトンタッチ出来る環境を整備することだとあらためて、再確認しました。

ウムチョムゥイーザ学園の子ども達の輝く笑顔そして子ども達に夢を託して日々教室で教えてくださっている先生方の前向きな姿勢をみて、この活動を続けてきたことは、実現可能な未来への道づくりになっていることを確信うれしく思いました。

今年の3月19日から4月20日までルワンダへ行ってきました。2011年12月から送金を始めた給食プロジェクトの実現に向けて、新潟の藤田さん岡村さんそしてキガリ在住の照子さんと給食室と地元の農家をつなぎ、食材と雇用を含めた地域に信頼される学園をめざそうとPTAの方々と話し合ってきました。照子さんが学園にいて、日本食にも関心を持ち始め、調理をしてくれる予定のお母さん二人は、子ども達の喜ぶ姿を今から楽しみにしていました。

今年度の総会で、再び私永遠瑠・マリールイズが理事長としてみなさまに選出されました。「教育と子育てには、近道はありません。」と考えます。

長〜い道のりなので、ゆるやかにお互いを尊重しあいながらこのすばらしいお仕事をなしとげていきましょう。「念ずれば叶う」という大好きな日本のことわざのようにみなさまと一緒に末永く楽しく有意義な時間を過ごしていけることを心からお祈りいたします。

どうぞみなさま今後ともよろしくお願いいたします。



* 「カンベンガ マリールイズ」は永住権を取得し、「永遠瑠 マリールイズ」に表記を変更しました。



ウムチヨムイーザ学園の会計報告 2014年度1学期(1月～4月)

学費の納入状況の報告

*2014/5/9現在時価換算による。

納入状況	幼稚園			小学校						合計	金額
	年少	年中	年長	1年	2年	3年	4年	5年	6年		
100%	16	18	16	29	25	18	15	12	12	161	1,540,820
その他	1	4	7	12	8	15	5	14	15	81	531,490
0%	2	2	3	1	2	1	7	12	3	33	0
合計	19	24	26	42	35	34	27	38	30	275	2,072,310
予算額											2,631,750
不足金額(日本からの支援額)											559,440



(1人あたり=65,000ルワンダフランを約9,570円に換算)

完納が前学期109名から161名へ! 0%が77名から33名へ改善!

2014年1月1日～4月30日会計報告

〔収入〕

〔支出〕

単位:円

項目	金額	項目	金額
学費	2,072,310	給料・手当	1,686,670
入学登録料	6,184	社会保険料	66,995
学校保険掛金	12,368	税金	238,549
パソコン教室収入	60,367	職員食事代補助	35,675
ピアノリース収入	47,999	光熱費	25,516
ユニホーム作成販売	167,672	通信費	28,358
多目的室賃貸収入	234,105	印刷費	132,762
バス運行収入	7,362	車の維持費	119,820
その他の収入	6,331	会議・研修費	53,815
考える会からの支援	1,707,640	施設維持費	178,870
個人寄付	28,573	医療費	2,915
繰越金	325,169	備品購入費	40,195
個人からの返済	73,618	給食プロジェクト	853,180
		慶弔費	111,399
		銀行手数料	124,525
		職員へ前貸し	81,127
技術専門学校建設準備		ユニホーム作成	113,489
		VTCプロジェクト	147,972
合計	4,749,698	合計	4,041,832

残金

707,866

今回は、学園の自立を目指した取り組みで
収入の項目が増えました。



三月二十九日から二週間、新潟から藤田さんと岡村さんが、子ども達に一日でも早く給食を提供するために、ルワンダの人たちと話し合ってくださいました。



てるちゃん日記

ルワンダでは「Izuba」(ルワンダ語で「太陽」と呼ばれている照子さん
(当会理事斎藤照子 2012年8月28日からルワンダ在住)の近況をお知らせ
します。一緒にルワンダで生活している気分を味わってください。



皆さん、こんにちは！お元気ですか？

音楽を子ども達と楽しんでいます。



学校も2学期に入って前半ばが過ぎました。2学期の課題は「音楽を聴くこと」です。私が弾く、覚えやすいメロディーの小曲、3曲と、リズムとメロディーのはっきりしたディズニーの曲をCDで聴く事で、その楽しさを体験します。

私がピアノを弾くと、子ども達は身を乗り出して、指の動きを見ようとします。補佐の先生は、きちんと腰かけて聴くよう注意しますが、私は先生に子ども達がリズムに合わせて体を動かしても、注意しないで自由にさせて下さいと、お願いしております。音楽は、かしまって聴くのではなく、自由にリラックスして聴いてほしいからです。

子ども達は、実にのびのびと聴く事を楽しみます。私が弾き終わると、拍手して「アゲイン」と催促します。ディズニーの曲は乗りやすいので、子ども達よりも先に私が踊りだして、手振りと一緒に踊ろうとうながすと、すぐ踊りだします。楽しいですよー！

補佐の先生3人には、一学期からピアノを教えておりますが、他の先生の要望もあって、5月から毎週土曜日を、レッスン日にしました。希望者はだれでもOKです。現在、先生以外に通常の授業について行けない2年と3年の男の子二人に、音楽を通してその子なりの能力を、引き出す事ができたと思って、ピアノを教える事にしました。幸い音楽が好きなようなので、一緒に遊ぶ感じで、覚えが悪くても決して叱らず根気強く、繰り返し繰り返し教えております。

3年生の子は、全く表情がなくいつもこわばった顔でしたが、どんな小さな事でも出来た時に褒め続けていたら、ほんのり笑みを浮かべるようになりました。この子は母子家庭で、とても貧しく今まで笑う事など、あまりなかったのでしょう。

2年生の子は、ルワンダでは珍しい超肥満児で、裕福な家の子が通う他の学校に行っておりましたが、その学校から指導できないと退学させられたため、一学期に転校して来た子です。肥満のため歩く事が嫌いな子は、近くの自宅から自家用車で送迎してもらい経済的に恵まれた家の子です。その子が、家からゆっくりゆっくり歩きながらレッスンに来た時は、私より背の高い肉付きのよい、プックリふくらんだその子のホッペを、思わず撫でまくってしまいました。それを、この子の特徴でもある愛きょうたっぷりの笑顔で、受けてくれました。

今回は、音楽に関する事のみ書きました。4月から始めた自炊については、いろいろ体験しておりますので、それは次回に回します。



PS.

先回の記事に書いた、5月初旬の大使館でのピアノ伴奏は、歌手「坂本真由美さん」が、ドイツ歌曲が専門のため、その歌曲が中心になったのでドイツからプロの伴奏者が来て6月6日、開催されます。

私の日本歌曲伴奏は、2月28日の大使館主催「Japanese day」で無事終了しましたので、ご報告いたします。



2014.5.22

それでは、また。お元気で…… IZUBA照子

アマコロ！

新潟県佐渡在住 岡村礼子

ルワンダ語で「こんにちは！」です。

3月、「偶然」にもマリールイズさんとの「出会い」が重なり、長年の夢であったルワンダ行きが実現しました。「スクール・ランチ・プロジェクト」の視察が目的で、新潟支部長藤田さんと佐渡メンバー兼、大学院研究生として参加させていただきました。

「ウムチョ・ムーザ学園」の生徒たちの体重測定を行い、栄養状態を調査し、これからスタートする「スクール・ランチ・メニュー」に役立てていただきたいという気持ちでの2週間でした。



日本の雪が残る山々を横目に、カタール国ドーハ経由でルワンダ国際空港へ。



空港をでたとたん、花束を携えた学園の生徒たちに出迎えられ、彼らの目の輝き、あたり一面の緑の鮮やかさに一瞬にして目を奪われてしまいました。空港からマリールイズさん宅への途中、道を歩くカラフルな衣服をまとう女性たち、色とりどりのイラストが描かれている建物、南国の花々、日差しは強いけれど爽やかな風、一辺でルワンダ大好き人間になってしまいました。

次の日からは、「ウムチョ・ムーザ学園」へ。250人ほどの、幼稚園生、小学生に、人懐っこい笑顔で迎えられ、感動的な毎日でした。幼稚園生の授業では、ルワンダ語、英語、フランス語、日本語を取り入れた歌を、先生の太鼓に合わせて歌ったり、踊ったり。ルワンダはコンゴ共和国、ウガンダ、タンザニア、ブルンジと国境を接していることから、その付近の人たちは、お互いの言葉が話せるということです。つい、日本の英語教育について考えてしまいましたが、お互いを理解するためには、言葉は大切だなとつくづく思いました。

歴史に残るルワンダ紛争から20年。ルワンダは、4月7日「ジェノサイド・20周年記念行事」が行われる特別な時期でした。滞在した首都キガリのゲスト・ハウスの回りでは、ブルドーザーが忙しく立ち動き、住宅造成地作りの真っ只中でした。豊富な野菜を売る小売店、家族で声をかけあって売り買いする人たち、活気のある町の様子が思い出されます。偶然通りがかった教会からは、町のどこまでも聞こえそうなゴスペルソング、赤ん坊を背負いながらのダンス。悲惨な歴史を繰り返したくないという固い決意が都市だけでなく私が訪れた地方のどの場所においても感じられました。

帰国後、2ヶ月近く過ぎた今、現地でお世話になった皆さんの顔が走馬灯のように浮かんでいきます。イズバ照子さん、校長先生ご夫妻、先生方、生徒の皆さん、研究の助手を引き受けてくれたお2人。毎日、アフリカン料理を提供してくださったマリールイズさんのご姉妹、ガイド役のミッシェルさんはじめ、親戚の方々、数え切れないほど心温まる気持ちをいただきました。

遠くない将来、またお目にかかりたい気持ちで一杯です！

最後にムラコゼ・チャイ！（ありがとうございました！）





2014年5月11日（日）に福島市働く婦人の家にて、総会が開催されました。
ここに2013年度の決算を報告いたします。

皆様の支援のおかげで、ウムチョムウィーザ学園では、2013年末には7回目の卒業生を送り出すことができました。今後の進路が楽しみです。

【国内での活動】

1. ルワンダを理解してもらうための活動ー計58回の講演

2. 異文化理解のためのイベント事業

①「ルワンダDAY in ふくしま」

7月21日 三春町

②「ルワンダ写真展 IN ふくしま」

1月4日～8日 福島市

③参加型イベントに出展

3. 東日本大震災復興支援事業

赤い羽根、福島県・福島市国際交流協会の助成を受け、昨年に引き続き、仮設住宅を、定期的に計15回訪問

2014年度役員紹介

理事長 永遠瑠マリールイズ

副理事長 倉持睦子

副理事長事務局長 本田啓之

理事 大河原伸

理事 斎藤照子

理事 大槻美智子

理事 穴戸なつ美

理事 鈴木恵子

監事 大和田紋子

これらの事業を継続して行うために、ご理解のうえ寄付及び活動への参加等さらなるご協力をお願いいたします。

2013年度会計報告

【収入の部】

項目	金額	備考
講演活動	2,218,948	講演67回
物品販売	1,877,431	コーヒー・紅茶・民芸品販売
イベント収益	55,000	ルワンダ DAYin ふくしま他
会費	535,000	正会員 5000 円×107 人
	350,000	賛助会員 10000 円×35 人
助成金	1,815,994	東日本大震災関連
寄付金	5,687,210	1円から毎月 25 万円まで
500 円寄付	262,000	2012年8月から開始31口
奨学金	23,000	学園卒業生への支援
絵本収益	54,500	中地様より売上げ分寄付
ソーラー寄付	18,000	学園で頻発する停電に対応
給食プロジェクト	370,000	新潟等皆様より
募金	12,124	ルワンダフルクリスマスキャンペーン他
雑収入	3,977	銀行利子
繰越金	2,028,510	前年度より
計	15,311,694	

【支出の部】

項目	金額	備考
事業費	12,002,055	学園への援助・民芸品の仕入 国際電話・コンサート等
管理費	1,584,343	家賃・給料手当・通信費等
計	13,586,398	

【残高】

1,725,296 円を2014年度へ繰り越します。

【ルワンダでの活動】

1. V T C プロジェクト（Vocational Training Centerー技術専門学校の建設）

外務省・JICAへのプロポーサルの申請準備

2. 給食プロジェクト

国の認可基準により全員が食堂で食べることが条件となり、当初計画より建設規模が拡大

3. 学園の自立に向けての取り組み

当会と学園運営母体のADESOCとの関係

4. 命をはぐくむ教育支援事業

健康診断プロジェクトー保健室の設置

ルワンダ MARABA コーヒー

おいしいコーヒーを味わって
ルワンダを応援してください！

200g	1個 1,200円	最小購入個数 5個
------	-----------	-----------

申込みは下記のメールでお願いします。

e - m a i l :info@rwanda-npo.org



ーお知らせー

学園建設・運営から13年になりますが、授業料の払えない子ども達も「払える払えないか」ではなく先着順で受け入れているため、先生方への給料等運営には日本からの支援に頼っているのが現状です。

学園には、自立できる道を努力していただいておりますが、趣旨を御理解いただき今後とも支援をお願いします。

正会員年5,000円賛助会員年10,000円を随時募集しております。ぜひ活動にご参加ください。

月一口500円からのご寄付も100人を目標に募集しています。



斎藤照子さんと坂本真由美さん
ルワンダにて

申込み用紙は当会ホームページに掲載しております。

NPO法人 ルワンダの教育を考える会 PRESENTS!! 13年間の感謝を込めて....

ルワンダDAY in ふくしま

○ 日時 2014年7月20日(日)

開場13:00 開演13:30

○ 場所 伊達市ふるさと会館

MDDホール

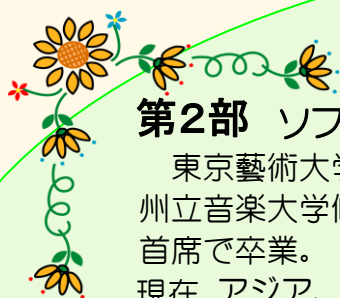


第1部



講演 永遠瑠マリールイズ

アフリカのルワンダ内戦から生き残ったマリールイズが、福島県の皆様に感謝の気持ちをこめて、年1回支援先のルワンダの学園の子ども達の様子やルワンダの現状と課題を語ります。



第2部 ソプラノコンサート 坂本真由美

東京藝術大学声楽家卒、ドイツ・フランクフルト州立音楽大学修士課程リート・オラトリオ科に留学、首席で卒業。

現在、アジア、ヨーロッパ、アフリカと活動の場を広めクラシック音楽の普及に努めています。2014年1月にはルワンダのキガリ市でコンサートを開催。

美しい曲でひとりでも多くの方に、明日への希望をもていただけるようにと願いをこめて。



◎入場無料(全席自由)

みんな元気に!

主

催

NPO法人 ルワンダの教育を考える会

●お問合せ先 NPO法人 ルワンダの教育を考える会事務局

TEL 024-533-8289

FAX 024-533-828

携帯 090-2026-7779 (ルイズ) 080-8894-1519 (本田)

http://www.rwanda-npo.org/

E-mail info@rwanda-npo.org





今後の会のあり方について

地元の福島市周辺の会員へ活動の参加を呼びかける。

懇親を深める企画を行い、学園の近況や今後のこと等一緒に歩んでゆきたい。



全国ヘルイズが講演に行ったときに、時間を利用して会員の交流を図り、遠方でもできる支援の仕方を模索する。



会員間の交流につながる活動について、みなさまからのご意見をお待ちしております。

楽しく活動し、参加してよかったと思える組織へ！

☆各種振替口座番号のご案内です！☆

会費振込・寄付・募金（奨学基金もよろしくお願いします。）

郵便振替口座：02290-0-97126

加入者名：NPO法人 ルワンダの教育を考える会



【ゆうちょ口座自動振込み寄付】 月一口500円から

ホームページ掲載 目標100名まで継続して募集します。現在34名登録

ソーラー発電…学園のソーラー発電機を増やし、電力の確保をしたいと考えています。

郵便振替口座：02200-2-77634

加入者名：ルワンダ ソーラー発電P



事務局では、事務局スタッフ及び各種イベント開催時、お手伝いくださる方を随時募集しています。一緒に楽しみませんか。連絡をお待ちしています。

—編集後記—

ワールドサッカーに夢中！なかでも中米のコスタリカは、高い教育水準・常備軍の不保持・比較的福祉制度が整った国であることが驚きである。

この機会にいろいろな国の特徴に興味を持つとテレビ観戦も楽しい！



NPO法人ルワンダの教育を考える会



理事長 永遠瑠 マリールイズ

〒960-8055

福島県福島市野田町四丁目 8-20

TEL / FAX: 024-533-8289

ホームページ: <http://www.rwanda-npo.org>

e-mail: info@rwanda-npo.org